

# 小四児童における 肥満予測ポイントシステムについて

A point system to predict the future risk of obesity in 10-year-old children

糖尿病や高血圧症などの生活習慣病をはじめ数多くの病気のもとになるといわれる「肥満」。肥満傾向の子どもは将来、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病を患ってしまう可能性が高くなります。

肥満予測ポイントシステム＝肥満発症予測ツールです。

※肥満傾向の子どもを減らしていくためにエビデンスに基づいて作成されたシステムです。事後指導などにお役立て下さい。

## 肥満予測ポイントシステムとは？

別府市児童・生活習慣病健診小学4年生の過去データ（2011年から2019年）を用いて作成された肥満発症予測ツールです。

保護者に対する自記式アンケート(健診票)により、現在の子供の肥満率とアンケートにて選択した生活習慣や家族歴などの回答の中から選択された危険因子ごとにポイントを付け、ポイントの合計数によって将来の肥満発症を予測するものです。

ポイントが高いほど肥満リスクがあり9点以上がハイリスクとなります。

（9点未満だとしても肥満リスクを否定するものではありません）

ただしこれは現時点で肥満率10.0%～19.9%未満の軽度肥満傾向がある児のみ対象となり現時点で肥満傾向の無い児や肥満率20%以上の肥満がある児は対象外のためポイント結果は出ないことにご留意ください。

## 肥満予測ポイントシステムの予測値と実測値との比較（有意性）

【過去データを分析し導き出した肥満発症率】

Point total†	リスクの推定			
	a‡	b§	(%)	
0	-4.2640	0.0139	1.4	85%
1	-3.9576	0.0188	1.9	
2	-3.6512	0.0253	2.5	
3	-3.3448	0.0341	3.4	10%
4	-3.0384	0.0457	4.6	
5	-2.7320	0.0611	6.1	
6	-2.4256	0.0812	8.1	5%
7	-2.1192	0.1072	10.7	
8	-1.8128	0.1403	14.0	
9	-1.5064	0.1815	18.1	
10	-1.2000	0.2315	23.1	
11	-0.8936	0.2904	29.0	
12	-0.5872	0.3573	35.7	
13	-0.2808	0.4303	43.0	
14	0.0256	0.5064	50.6	
15	0.3320	0.5822	58.2	

【R5年度小4児童における肥満予測ポイントシステム結果】

	0～2ポイント	3～8ポイント	9～15ポイント	対象外	合計
男子	218	20	21	7	266
女子	210	22	14	12	258
合計	428	42	35	19	524

ポイントが多いほど肥満リスクがあり、  
9点以上では将来肥満になる可能性が高いと  
予測されるため生活習慣の指導が必要です。

生活習慣を改善し、早期に予防することが大切！